

世界インターアクト週間 にあたって

インターアクト委員会 委員長

鮫島 武信

(大阪南RC)



インターアクトは、RIの常設プログラムです。当地区には現在インターアクト提唱RCは7クラブしかありませんので、当地区の多くのロータリアンにとっては、関心の薄いプログラムとなっているのかもしれませんが。ご承知のとおり、すべてのクラブと地区は青少年の基本的ニーズである健康・人間の価値・教育・自己開発を支援するためのプロジェクトに着手するよう奨励されおり、その一つの柱がインターアクトクラブ(IAC)の提唱です。

当地区のIACは、大阪桐蔭(大東RC)、金光八尾(八尾RC)、四天王寺(大阪天王寺RC)、清風(大阪南RC)、相愛学園(大阪RC)、浪速(大阪帝塚山RC)に加えて、昨年度から大阪国際大和田(守口イブニングRC)が加わり、全7校です。各IACは、各校の顧問の先生方の指導の下、それぞれが地域の奉仕活動をしています。具体的には、地域の清掃活動、献血活動、募金活動などを挙げることができ、その活動に提唱RCのロータリアンが参加したり、逆に、インターアクターが提唱RCの活動や地区の活動に

参加することで、IACとRCとの交流、さらにローターアクトクラブとの交流を行っています。

地区活動としては、海外研修(8月5日~8日)、年次大会(11月9日 於：金光八尾中高校)、新入生歓迎会(来年6月実施予定)の3つの行事を柱として、機関紙SCRUMを発行しています。

今年の海外研修(8月5日~8日)は台湾台北の3520地区を訪問し、現地において奉仕活動を行いました。研修の後、インターアクターが台湾のIAC委員長に宛てた礼状から、3通の抜粋を文末に示します。

C君の言葉「言葉が同じなのにわかり合えないことが多い…少しでも理解しよう」「人に対しての考え方やものに対する考え方、人との接し方も変えうる体験」は、我々ロータリアンをも成長させてくれる言葉ではないでしょうか。インターアクト活動は、参加する全員に将来への勇気を与えてくれる活動です。

提唱IACの有無に関わらず、全てのロータリアンのご理解とご参加をお願いすると共に、提唱クラブが一つでも増えることを希求いたします。

A君 「寄付活動の時、不器用な僕たちに丁寧に台湾の言葉を教えてくれたこと。体調を崩して途中から参加した僕にも、積極的に話しかけてくれたこと。そんな皆さんの優しさや、温かさに感謝しても感謝し尽くせません。

When we were doing fund-raising activities, you taught us Taiwanese. I had joined in the middle, however you made an active effort to talk to me. I'm appreciate such your kindness and your warmth.]

Bさん 「英語が出来ない私にわかりやすく話してくれてありがとうございました。次、会う時は英語や中国語で会話出来るようにします。

Thank you for talking plainly for me who cannot speak English. Next, when meeting, it enables it to talk in English or Chinese.]

C君 「日本でも言葉が同じなのにわかり合えないことが多いのに、台湾の方々は少しでも理解しようとしてくれました。人に対しての考え方やものに対する考え方、人との接し方も変えうる体験する機会を与えてくださった台湾のロータリーとインターアクトの皆様には感謝しています。

Though words were the same, understood it in Japan, and few, the Taiwanese people were going to understand it though there was not often it. I thank a Taiwanese rotary and the inter-acts whom I gave an opportunity to experience it when I can change way of thinking for the person and way of thinking for the thing, how to contact people.]